

# ニュース専修

専修大学ホームページ

https://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行  
発行所  
専修大学広報課  
〒101-8425  
東京都千代田区  
神田神保町3-8  
☎03-3265-5819(直)

## 主なニュース

- 商・太田教授が学会賞/文・久木元教授が小泉郁子賞... ②
- 新企画「Global+」専修国際人... ③
- 学校法人専修大学 中期計画・事業計画... ④
- 学校法人専修大学 令和3年度予算... ⑤
- 石巻専修大学 3年次生5人、専大経営学部へ国内留学... ⑦

おことわり  
マスク未着用写真は  
撮影時のみ外しています



### 2022入学ガイド

専修大学の学びの特徴や学部学科の特色、キャンパス情報、就職や資格取得の支援体制、入試情報などを紹介する「2022入学ガイド」を5月下旬から配布します。発行後、本学ホームページでデジタルパンフレットを公開、資料請求もできます。

◆入学センターインフォメーション  
【神田キャンパス】 ☎03-3265-6677  
【生田キャンパス】 ☎044-911-0794

# 「一人で抱え込まないで」

## 専門のカウンセラーが対応



生田キャンパスの学生相談室

### 学生相談室

大学生活や学びの環境、将来について、一人一人に寄り添い、話し合う場所、それが学生相談室だ。神田・生田両キャンパスにあり、専門の資格を持つカウンセラーが学生用システム「in Campus」でも読

電話で受け付けし、電話、オンライン、対面でも相談に当たる。電話で受け付けし、電話、オンライン、対面でも相談に当たる。電話で受け付けし、電話、オンライン、対面でも相談に当たる。

電話で受け付けし、電話、オンライン、対面でも相談に当たる。電話で受け付けし、電話、オンライン、対面でも相談に当たる。

電話で受け付けし、電話、オンライン、対面でも相談に当たる。電話で受け付けし、電話、オンライン、対面でも相談に当たる。

電話で受け付けし、電話、オンライン、対面でも相談に当たる。電話で受け付けし、電話、オンライン、対面でも相談に当たる。

電話で受け付けし、電話、オンライン、対面でも相談に当たる。電話で受け付けし、電話、オンライン、対面でも相談に当たる。

拡大防止のため  
の活動レ  
ル」による。  
「つらさや孤独感を感じたとき、一人で抱え込まないで。どんな小さいことでも話を聞かせてほしい」とスタッフはこやかに語る。リーフレットや学生相談室ニュースを

【相談受け付け・イベント申し込み】  
■生田キャンパス  
グリーントップ地下1階  
☎044-911-1278  
■神田キャンパス9号館2階  
☎03-3265-6216

### 障がい学生支援室

#### ピアサポーターも協力 全学的に修学を支援

多様な学生の個性を尊重し主体的に学修できる環境を提供するため、本室は「障がい学生支援にサポート利用学生とともに、学生の目線での支援体制づくりや、そのための課題解決に取り組んでいく。現在約20人が登録し、研修やサポート利用学生との意見交換をオンラインで行っている。今後は、対面・オンラインでの授業支援などの技術習得や、啓発活動を予定している。

【相談受け付け・問い合わせ】  
E-mail : sien@acc.senshu-u.ac.jp  
■生田キャンパス4号館1階  
☎044-946-7001  
■神田キャンパス 9号館1階学生生活課内  
☎03-3265-6824

### 学生相談室長 障がい学生支援室長

俳優の田中邦衛さんがおこなった。りになりました。

猪田さんがはじめて夜間中学の

### 小峰 直史

「た人が学校に通うことは相当な勇気がいることだ」と静かに語るシーンがあります。

多くの自治体はその調査すらせず、オンラインでのサポートもさまざまな理由をつけ二の足を踏んでいる実態があります。

各自のふるまいは、理解の難しい抽象的な結果を地球規模でいくつも生む。感染症流行時に助け合いの精神がない者には、何よりもまず想像力が欠けているのだ(『コロナ時代の僕ら』早川書房)。

## コロナ時代こそ共感力と想像力を

門をくぐる時、医学部生が初めても、「景気づけに」とお酒を飲んできてしまいました。付き添いの医学部生に黒井先生は、「何らかの事情で義務教育を修了できなかったも

もや青年たちが確実にいます。例えば、基礎疾患を持つ家族を心配して学校に通えず「自主休校」を選ぶ子

つ共感力と想像力です。2020年春、ロックダウンのイタリアでパオロ・ジョルターノはこう書いています。「アクションを起こす僕らが大勢ならば、

は育まれます。そのウイングを広げるのは、大学が大切にしている理性です。学生相談室・障がい学生支援室は、皆さん一人一人の声を丁寧に聴き、共に悩み、考え続けたい。どうぞドアをノックしてください。私たちはそこにいますから。(人間科学部教授)

## サークル勧誘 2年ぶりに実施



4月9、13日、神田・生田キャンパスで、2年ぶりにサークル勧誘が行われた。1、2年次生が対象で、参加団体や入場者数を限定し、手指消毒、検温を徹底して実施された。



商品を開発した4年次生(前列)と、クラウドファンディングに取り組む3年次生。右が奥瀬教授



商学部・奥瀬ゼミを考案・商品化した。5月からはクラウドファンディングのリターン品として提供開始

### クリアポーションを商品化

クラウドファンディングのリターン品として提供開始

クラウドファンディングには3年次生15人が取り組んでいる。ゼミ活動の紹介文やクリアポーションの説明動画などを作成。クラウドファンディングサイト「READY FOR」上で5月から募集を開始し、集まった支援金はゼミ活動でのフィールドワークの費用などに充てる計画だ。松本萌花さんは「授業で学んだ内容を実践できる貴重な機会」と語る。